

# 人工光型植物工場における葉菜類の栽培環境管理の 日本農林規格（JAS）制定進捗報告

2019年7月9日（火）に農水省におきまして日本農林規格調査会が開催され、人工光型植物工場における葉菜類の栽培環境管理の日本農林規格（JAS）の策定が議決されましたので報告します。

本規格は、パナソニック、三井物産と共に、当協会が共同で申出しております。

人工光型植物工場の業界は、加工、中食、外食といった業界に代表されるいわゆるB2B商取引が拡大しつつあり、このようなB2B商取引において、人工光型植物工場運営事業者の栽培環境管理能力を評価する基準を求める声が高まっております。

本規格を制定することにより、人工光型植物工場運営事業者が、自らの栽培環境管理能力をB2B取引先にアピールすることが可能になり、B2B商取引の合理化および円滑化につながると共に、人工光型植物工場産業全体の発展にも寄与すると考えております。

日本農林規格調査会資料（規格案含む）

<http://www.maff.go.jp/j/jas/kaigi/190709a.html>

関連記事

<https://www.nca.or.jp/shinbun/agricultural-administration/5400/>

<https://www.agrinews.co.jp/p48183.html>

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO48193110U9A800C1NN1000/>